

# 議会広報広聴委員会記録

令和6年6月10日（月）

13時30分～14時44分

第4委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、  
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、  
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

---

## 議題

### 1 はまだ議会だよりminiについて……………資料1

(1) 第30号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

### 2 はまだ議会だよりVol. 74について……………資料2-1, 資料2-2

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

(3) その他

### 3 地域井戸端会について……………資料3

(1) 今後の流れの確認

(2) その他

### 4 はまだ市民一日議会について……………資料4

(1) 実施概要及び開催日決定

(2) チラシの確認

(3) その他

### 5 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて……………資料5

(1) 意見と振り分け先の確認

(2) その他

### 6 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 13 時 30 分 開議 ]

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を始める。出席者は10名で定足数に達している。では議題に入る。

1 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第30号掲載内容及び原稿担当

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

○村武委員長

では議会だよりmini第30号の内容を決めていきたい。事務局からの提案について意見をいただきたい。

○三浦委員

総務文教委員会の現地視察と、議会運営委員会の議員研修会がちょうど良いのではないか。

○村武委員長

三浦委員より、総務文教委員会の高校寄宿舍の現地視察と議会運営委員会の議員研修会が良いのではないかとこの意見が出たが、皆いかがだろうか。

( 「良いと思う」という声あり )

それでは総務文教委員会の記事を書くのは、沖田委員にお願いして良いか。

○沖田委員

はい。

○村武委員長

議会運営委員会はどうなたが書かれても良いと思うが。

○川上委員

私はつぶやきを書きたい。

○村武委員長

川上委員にはつぶやきを書いてもらう。議会運営委員会の研修会について、どなたか協力をいただけないか。

( 肥後委員挙手 )

肥後委員をお願いします。では、総務文教委員会の高校寄宿舍現地視察については沖田委員、議会運営委員会の議員研修会については肥後委員をお願いします。議員のつぶやきは川上委員に書いてもらえるとのことだが、内容はどのようなものか。

○川上委員

後ほど考える。

○村武委員長

川上委員に書いてもらうということで皆よろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではよろしく願います。原稿提出締切り日は6月21日金曜日の12時までとなっている。

(2) その他

○村武委員長

議会だよりminiについて、その他何かあるか。

( 「なし」という声あり )

2 はまだ議会だよりVol. 74について

(1) ページレイアウト

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

○村武委員長

まずレイアウトについて、今書記から提案をいただいたが皆はいかがでしょうか。

( 「良いと思う」という声あり )

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

○村武委員長

では役割を決めていきたい。

( 以下、協議 )

表紙……三浦委員

6月定例会議 今回はこれがポイント……村木副委員長

6月定例会議トピックス……川上委員、沖田委員

議会ニュースまるよみ……議員連盟

市民対談……三浦委員 (どんちっちアジ祭り実行委員会への取材)、川神委員

地域井戸端会……村武委員長

ぎかいポストに寄せられた意見回答……村木副委員長

はまだ市民一日議会の告知……議会事務局

委員会活動レポート……各委員会委員長へ依頼

(3) その他

○村武委員長

その他何かあるか。

○村山書記

74号に、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）のチラシを入れさせてもらいたい。

○村武委員長

その他何かあるか。

（ 「なし」という声あり ）

3 地域井戸端会について

(1) 今後の流れの確認

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

（ 以下、資料を基に説明 ）

○村武委員長

書記から説明があった。今後のスケジュールとして全員協議会で報告書を共有した後、各常任委員会において出た意見について協議し、会場への回答を作成してもらいたい。よろしく願います。

地域井戸端会で出た意見については常任委員会でそれぞれ協議していただくが、地域井戸端会の振り返りをしたいと考えている。

当委員会の委員は委員会内でいろいろな意見を出してもらえるが、委員外議員からも何かしら振り返りがあるかもしれないので、そこも聞けたら良いと思う。各常任委員会から出てもらっているので、今度の委員会でそのあたりの話を聞きたい。

○村山書記

良いと思うので、ぜひそのような形にさせていただけたらと思う。

○村武委員長

では常任委員会で意見について協議した後に、皆から意見をいただくということをお願いできるか。

（ 「はい」という声あり ）

地域井戸端会について皆から何かあるか。

○大谷委員

テーマ別のところは委員会ごとに示されているので問題ないと思うが、自由意見の取り上げ方は各委員会内で委員が提案し、そこで取り上げて協議して回答という流れでよろしいか。

○村武委員長

自由テーマのところに記載されている意見についてか。

○大谷委員

はい。

○村武委員長

この報告書を見て、各委員会内で委員が意見を出せば良いと思っている。

○大谷委員

内容についてもお任せということか。

○村武委員長

はい。

(2) その他

○村武委員長

ほかにはよろしいか。

( 「なし」という声あり )

4 はまだ市民一日議会について

(1) 実施概要及び開催日決定

○村武委員長

資料4を見てほしい。今年度も市民一日議会を開催していきたいが、まずは市民一日議会を開催するかどうか確認したい。開催するという事によろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

では、実施内容を確認する。昨年いただいた意見などもあるが、こちらの内容について考えたい。参考資料として昨年のアンケート結果を見てほしい。大まかには昨年同様で良いと思うが、まず対象者をどうするか。今までは子どもから高齢者までということで年齢は区切ってなかったが、そこはいかがか。

○川上委員

先般の地域井戸端会で、対象者を絞って意見を聞く場所があったほうが良いという意見があった。これまでは広く意見を求めていたので、今回は絞っても良いのではと考える。高齢者ではなく若者の意見を、というが若者をどう区分するか難しい。その辺を考えてもらえたらと思う。

○村武委員長

今までも若者を対象にしたら良いのではないかという協議もあったかと思う。広く意見をもらったほうが良いとのことで年齢を限定してはいなかったのだが、皆から意見をいただきたい。

○川神委員

今までもどちらかというと高齢者や中年層はいろいろな形で意見を言う機会が、子どもよりはおそらく多かっただろうと思う。子どもに限定して1回やってみるのも一つのサンプルになって良いのではないかと思う。

○西田委員

私も絞ることは良いと思うので賛成だが、実際に若者が参加することを見込んだこちらの動きも要るのではないか。ただ絞っただけで放っておくわけにいかない。若者に出してもらうために踏み込む必要があるのではと思う。

**○村武委員長**

若者に限定したほうが良いということか。

**○西田委員**

はい。例えば女性ばかりでも良いが、そこに何らかの動きは必要かと思う。

**○三浦委員**

私は今までどおりのやり方で良いのではないかと思う。ただ、若者の定義をどうするかは別として、そういう人たちの声をより拾おうというスタンスは自分も持っているし、そういう人たちの声をどういう場所で拾い上げるか、場所はあったほうが良いと思う。私の考えとしては、市民一日議会をそういう場にするのではなく、別に設ければ良いと思っている。他の委員が言われたことには私も共感するので、そこをどのように位置付けて取り組むかは議論していけば良い。

**○西田委員**

いろいろな市民に議会へ目を向けてもらって、主体的に気持ちを表現される、そのように議員にアプローチされていくことが一番大事なことなので、その主体的な気持ちを持つ市民が少しでも増えることが一番大事である。絞るやり方と今までどおりのやり方といろいろあると思うが、去年も途中まで募集してもなかなか参加者がおらず、ふたを開けたときにはかなり参加者がおられた。その間の情報は全く知らないの、いろいろな議員がいろいろなところにアプローチするなどの苦労がかなりあって参加されたのか、それとも何かのはずみに参加されたのか分からないが、大事なのは市民一人一人の主体的な気持ちがこちらへ向けられるか、そのための作業をこちらがいかにかだと思ふ。放っておいたら誰も参加されないというのが最も苦しい。

**○三浦委員**

これまでやってきた中で、実際に10代や20代の参加が非常に多かった。そのほかに議会が取り組む広聴活動として地域井戸端会やぎかいポスト設置などをやっているが、10代20代の声はそれではなかなか拾い上げられてない。ではなぜ、彼ら彼女らの参加が市民一日議会に対して多いのか。年1回ではあるがイベント的に広げられているこのスタイルが10代20代に対して親和性があったり、参加しやすい仕組みになっていたりするのなら、そういう形を尊重しながら彼らの意見を吸い上げる形としてどうなのかということを考えていくべきだと思ふ。

もう一つ地域井戸端会で言えば、今は26か所のまちづくりセンターとプラスアルファでやっているの、各地域に出向くとやはりその近隣の方が参加しやすい仕組みになっている。よって議論はその地域特性が出やすいと思ふ。しかしそこには学生たちはあまり参加しない。時間帯などいろいろな問題があると思ふ。地域の議論というよりは彼らの思っていることを素直に表現する場としては、地域で地域井戸端会を開くよりはこういうところのほうが言いやすいのかと思ふ。川神委員が言われたように、

彼らの意見を聞く場所として機能していて、それをもっと集中的にやるのは賛成だが、  
どういうやり方をさらに考えたら良いのかは、過去の実績を見るとヒントがありそう  
だとは思う。このやり方が良いのであれば踏襲しながらそこに絞ってやっていく方法  
も、全体の活動を見ながらそこに集中的にこれを持っていこうという議論であれば、  
それはそれでありだと思ふ。

### ○川上委員

三浦委員が言われたことは、確かにそうだと思う。今回も対象は絞らず全般とし  
ておいて、部分的な意見を拾う場所は今後より一層検討する必要があると考える。そ  
ういう方向で動いたほうが良い。

### ○村武委員長

若い方に絞ってという意見もあったが、やはり今まで同様に年齢を問わず広く意  
見を求めても良いのではと思うがいかがか。私自身は、やはり市民一日議会は年齢を  
限らず広く意見をいただいたほうが良いと思う。

先ほどから皆言われているが、若い方の意見は聞いていきたいと思っているので、  
ここは別の方法を考えていけば良いと思う。今年度の活動として大学生や高校生の意  
見を聞く会といったものを考えていこうという話も最初のあたりでしたので、今年度  
は議場ではないかもしれないが高校生からも意見をいただく機会を設け、来年度は議  
場で話をしたいという意見が若者からあれば、若者議会のようなものやっても良い  
かと思う。いかがだろうか。

( 「良いと思う」という声あり )

では、年齢は限定せず昨年度と同様の形でやろうと思うがよろしいか。

( 「はい」という声あり )

昨年は1グループ3人で参加された方たちがいる。昨年の反省で、その3人がそれぞ  
れ違うテーマについて話をしたのがどうなのかというものがあつた。複数人で参加し  
ても良いが、一つのテーマでやったほうが良いのではないかという意見について、確  
認しておかないといけないと思うのだがいかがか。

### ○川神委員

複数人が1グループとして出る場合、多少の意見のぶれはあってもテーマは一つが  
良い。では5人でも10人でも良いのかという極論だが、やはり上限人数の目安は当委  
員会で持っていたほうが良いと思う。あそこに上がれる人数も限界がある。ましてや  
それがばらばらな意見だと收拾が付かなくなる。テーマはある程度統一し、人数も上  
限は明記して、仕掛けを作っておく必要があると思う。

### ○村武委員長

今までも応募は一人1件、一つの発言テーマに限ると書いてある。我々が一般質問  
する際の大項目のように、一つのテーマで進めてもらったほうが良いのではないかと  
思うが、皆はいかがか。

( 「それで良いのでは」という声あり )

複数人でも良いがテーマの統一はしてほしいということと、先ほどの川神委員の

提案では人数の上限を設けたほうが良いのではないかとのことだが、その点はいかがか。

**○西田委員**

発言時間が5分に限られているので、きちんと趣旨が伝わるくらいの時間でやってもらうには、2、3、4人くらいまでという気がする。

**○大谷委員**

テーマは一つに絞るのが当然だろうと思う。人数については、5分という時間を考えると二人が適当かとは思ふ。発言テーマが同じでも、ばらけると議員側の受け止めもばらける。何らかの補助という形で登壇する必要のある方がおられるかもしれないので登壇者は2名で良いかと思う。

また、ある程度与えた時間、例えば5分与えられたならせめて4分程度は話をしてもらいたい。説明の量もある程度欲しい。

**○村武委員長**

人数は2名が良いのではないかという意見があった。まず人数から決めていきたい。2名か3名かというところだと思うがいかがか。

**○川上委員**

3名程度まで。

**○大谷委員**

程度とすると4名も入ってくる。

**○村武委員長**

3名なら3名までとしたほうが良い。

**○川上委員**

では3名まで。

**○村武委員長**

3名までという意見が出たがいかがか。

**○大谷委員**

基本は1テーマ一人だとは思ふ。事情があってグループでということであれば、3名なら3名までという対応のほうが良い。

**○村武委員長**

事情があればとするなら、その事情をまた考えていかないといけない。

**○大谷委員**

それは本人たちの思いである。事情という言い方をしたが、こちらが許容できるのは3名なら3名、2名なら2名と、数は示したほうが良い。

**○村武委員長**

昨年も3名でやっているの、3名が良いのではないかと思うがいかがか。

**○川上委員**

3名まで。

**○村武委員長**



表記の仕方も考えないといけない。今までは、応募は一人1件、一つの発言テーマに限ると書かれていた。

**○川上委員**

3なら3で良い。

**○村武委員長**

グループを表記するのか。

**○川上委員**

わざわざグループを表記せず、これまで同様で良い。

**○村武委員長**

昨年も表記はしなかったが受け付けたということで、そこは昨年同様でよろしいか。基本的には一人1件、一つの発言テーマで、昨年のようなケースが出たときに考える。昨年は委員会で検討した。そういう形でよろしいか。

**○沖田委員**

何人までとは書いてない。その対応しかないのでは。その場合は。原則同行者がいる場合は傍聴席でご傍聴することになっているので、基本的に同行者は登壇は不可である。例えば去年のように、どうしても一人では心細いので3人でと言われるなら、そこは要相談である。そこは常識的な範囲内というなら、今は2、3人という話になっているが。3人でいこう。

**○村武委員長**

表記はこのような形にして、それ以外は要相談とさせていただきたい。

**○小寺主任主事**

発言内容のところには一人1件、一つのテーマに限ると書かれてあるのは引き続きそのままということと、申込みに関する注意事項の部分で「未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇していただけます」としているの、こちらも引き続きそのような対応ということで。そういう相談があった際には事務局や正副委員長、委員会内で確認して、人数としては3人くらいが目安ではないかという物差しを持っておくということよろしいか。

**○村武委員長**

よろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではそのようにお願いします。昨年の感想や改善点の中に持ち時間に関する意見が結構あった。先ほどから5分という話が出ているが、そもそも5分で良いのか。発言時間の5分と質問時間の5分、特に質問時間の5分が短いというか、議員側の質問が長くきちんと答弁が得られなかったという場面もあったとのことだが、いかがか。

**○沖田委員**

発言者が5分という制度にできるのか。質問の5分というの、こちら側が話す時間もカウントして5分になっている。こちらが話す時間をカウントせず向こうが話す時間が5分というのはできるのか。

○小寺主任主事

そういうルール設定はもちろん可能だと思う。発言される方が答える時間のみカウントすれば良いのだが、その分5分より長くなってしまう。もともと2時から4時というアナウンスで開催しているのは発言時間や休憩時間を計算してのことだが、そのアナウンスを変えれば良い。どちらを選択するかだと思う。

○村武委員長

可能ではあるが、もしかしたら時間が延びるかもしれない。

○西田委員

事前に通告される内容によって中身はある程度理解できる。結局議員からの質問時間がどのくらいになるか分からない。もし可能なら、どの発言者にどの議員が質問するかを決めておけば良い。決まっていなかった場合は質問する議員が偏ることもある。なるべくまんべんなく、各議員の専門分野で再質問してもらったほうが全体のバランスが良くなるのではと思っている。したがってどうしても自分が言うべきときには手を挙げるべきだが、あとはできるだけそれが得意分野の人に質問してもらったほうが良い。全部ではないにしても、ある程度の振り分けができていればスムーズにいくかと思う。

○村武委員長

通告によって内容が分かるので、事前に質問者を決めておく。

○西田委員

各委員会の代表者かもしれない。誰でもとなると皆が関心を持つ内容には皆手を挙げる可能性がある。では誰が良いのか。やたら時間が掛かる可能性もある。

○村武委員長

できるところは質疑担当を事前に決めておくという、今の意見はいかがだろうか。

○三浦委員

あまり決めずに柔軟で良いと思う。なぜ質問をするかという、来られた方々の主張をより分かりやすくするためにこちらが問うのであって、これまでも事前注意されているが、議員がそこに考えを述べたり主張をする場ではないので、それが結局時間を取っている場合もある。したがって議員側への注意をもう一度促して、質問をする。これはどういう意味か、ここはどう考えているかということの端的に質問すれば良い。個人的には5分が短いとは感じてない。先ほど西田委員が言われたように、事前通告によって骨子はある程度分かるが、当日その場で聞きたいことが出てくると思う。結果的に質問できない議員も出てくると思うが、そこは柔軟に。できるだけ多くの議員からも質問が出るよう、議長に采配をお願いしたらどうかと思う。

○村武委員長

議長に采配をお願いするのと、議員側にも端的に質問していただくようお願いするというので、ここは解決するかと思うがいかがか。

( 「はい」という声あり )

○川上委員

それで良い。

**○沖田委員**

それが徹底されるなら。

**○村武委員長**

昨年と同様に、持ち時間は発言時間が5分、質問時間が5分という形にしたい。

欠席者が出た場合の対応について意見を述べられた議員が数名おられた。欠席が分かった時点で対応できるかどうかもあると思うが、現実的にはなかなか難しいと思わなくもない。昨年は抽選で外れた方もおられ、実際出られたのは9枠だった。外れた方の中から一人繰り上げたい気持ちも分からなくはないが、それが可能かどうか。難しいと思うがどうか。

( 「仕方ない」という声あり )

昨年出た意見から内容を考えさせてもらったが、今チラシなどに書かれている概要について何か意見があればいただきたい。

**○西田委員**

基本的に今まで参加された方ではなく、新しい方ばかりにするのか。

**○村武委員長**

今までは初めての方が優先で、新規参加者が10名以内の場合は参加経験者も入ってもらう。

**○上野委員**

去年抽選に漏れた方は知り合いだったのだが、とても悔しがっていた。その方を優先するわけにはいかないか。

**○村武委員長**

それも以前協議したかと思うが、それはできないという形でやってきた。

**○川神委員**

もう一度出していただくしかない。

**○小寺主任主事**

抽選に漏れた方が次に応募された際に優先するかどうかだと思うが、第3回開催時はそうせずにフラットにやろうという結論でやっていた。今回どうするかは、また皆で確認してもらえれば良い。

**○村武委員長**

いかがだろうか。

**○川神委員**

1回ルールを作ってしまうと、そのルールを変更するのではなく次のルールが出てきたりして非常にややこしくなるので、本来の趣旨にのっとって1回1回抽選するのが良いのではないか。

**○村武委員長**

では今年度もフラットな形でやっていきたいと思うが、よろしいか。

( 「はい」という声あり )

チラシに書かれている内容でよろしいということで。また、開催日を決定しないといけない。今のところ10月20日を候補としているが、この日でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

ではこの日程でお願いしたい。申込み締切りもこの日でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

## (2) チラシの確認

### ○村武委員長

周知方法の確認だが、昨年同様として良いだろうか。昨年の周知方法について事務局から説明をお願いします。

### ○村山書記

昨年の周知方法は、チラシ・ポスターの配付、はまだ議会だよりへのチラシ折込み、市議会ホームページ掲載、ケーブルテレビでの告知、公用車へのステッカー貼り付け、総合窓口課モニターへの掲示、広報はまだ9月号への掲載である。

### ○村武委員長

チラシ・ポスターは学校等にも貼ってもらったか。

### ○村山書記

まちづくりセンターと学校に配布している。また議員にも貼ってもらえるところに貼ってもらっている。

### ○村武委員長

周知方法はこちらでよろしいか。

### ○大谷委員

学校用ポスターだが、ほかから来るポスターは大体A2くらいのサイズなので、大きさに負けている。したがって目立たない。学校用はA2くらいの大きさにしてもらったほうが良い。

### ○村武委員長

それは可能か。

### ○村山書記

可能である。

### ○村武委員長

まちづくりセンターはよろしいか。

### ○村山書記

まちづくりセンターの場合は、スペースの都合でA2が良いのかA3が良いのか不明なので一応確認するが、できればA3で用意させてもらいたい。

### ○村武委員長

それでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

周知方法についてほかにかがが。書いてあるとおりでよろしいか。

○川上委員

良いのではないかと。

○村武委員長

では周知方法は記載のようにさせてもらう。私が1点気になっているのが、このチラシは発言者応募に関する内容だと思うが、昨年度の傍聴者が少なかったように感じている。傍聴を促すような広報を別にしたらどうかと思ったのだが、タイミング的に難しいだろうか。

○村山書記

例えばホームページに載せるのは問題なくできると思う。また、まちづくりセンターに貼ってもらう際に、例えばA3のものを二つ作って送るなど。学校用にはさらにというのはスペースも大きく取られると思う。

○村武委員長

皆がこれまでどおりで良いということであれば、これまでどおりの周知方法にしたいと思うが。

○川上委員

今までどおりで良い。

○小寺主任主事

例えば今作っているチラシに、目立つように傍聴を促すような文言を入れることもできなくはないかと思う。

○村武委員長

チラシを見たときに、応募のためのチラシのように見えてしまう。このチラシの中に傍聴も促すような言葉を入れてもらう方法はいかがだろうか。

( 「問題なし」という声あり )

ではそのようにしたい。少しチラシのデザインが変わるがよろしく願います。

最後に、皆に提示しているチラシは最終的に確認してもらう。先ほど言った傍聴を促すような案内も少し入れてもらった内容にしていきたい。それでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

(3) その他

○村武委員長

市民一日議会について、ほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

5 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて

(1) 意見と振り分け先の確認

○村武委員長

資料5を見てほしい。今回四つの意見をいただいている。資料のとおり委員会に振り分けているがいかがだろうか。

( 「よろしい」という声あり )

## 6 その他

### ○村武委員長

以上が議題となっているが、そのほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

では今後の開催日程について。

### ○村山書記

今後の開催日程として、今回は7月19日金曜日の9時から、内容については議会だよりm i n iの8月発行分と議会だよりの構成、地域井戸端会の反省、市民一日議会の3常任委員名の周知依頼内容の確認を考えている。

### ○村武委員長

7月19日は都合が悪い様子の委員がいるようだが。

### ○村山書記

その前の週で初校を提供いただくので、日程を前倒しにすることは可能かと思う。

( 以下、日程調整 )

### ○村武委員長

次回委員会の日程調整は後ほどさせていただきたい。議題は以上だが、これで終了してよろしいか。

( 「はい」という声あり )

以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[ 14 時 44 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ